

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生活排水対策に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	1	3	
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	環境課			
施策	211環境保全の促進	担当課室長	山崎 宏			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	生活排水浄化対策の取り組み、啓発活動を今後も実施する。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	水質浄化の啓発活動に係るイベントを開催し、さらなる水質改善を図る。
②①に基づく取組み結果	生活排水浄化対策の取り組み、啓発活動を実施した結果、手賀沼、印旛沼の水質は、ほぼ横ばいで推移している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内主要河川(6河川):大津川、金山落、井草水路、中沢川、二和川、大柏川	意図(対象をどうするのか)	河川水質の監視
②事務事業の概要	水質保全のための基礎調査として水質調査や浄化対策を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	本市は手賀沼、印旛沼、真間川流域の最上流部にあたり、水質汚濁の防止に取り組む必要があるため、鎌ヶ谷市生活排水推進計画に基づき、施設整備及び水質汚濁の防止を啓発するとともに、公共用水域の水質監視体制に取り組んでいくもの。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	別添のとおり					
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i	大津川BOD値	6.1	4.2	4.6 mg/l	事業取得
	ii	井草水路BOD値	10.8	5.6	6.4 mg/l	事業取得
	iii	真間川水域BOD値	9	8.3	8.7 mg/l	事業取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	2,670	2,154	金額(千円)	内容	2,872	
国支出金(千円)			1,196	水質調査手数料		
県支出金(千円)			572	家庭雑排水共同処理施設保守点検委託		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	2,670	2,154			2,872	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	更なる水質改善を図っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	手賀沼・印旛沼・真間川流域の最上流部に位置しているため、水質調査の継続実施・監視に取り組む必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績		当初		H26からの繰越	
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正		現年分	
		流用・充当			
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	大気汚染・騒音・振動防止対策に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	1	3	
政策	21人と自然にやさしい地域社会をつくります	担当課室	環境課			
施策	211環境保全の促進	担当課室長	山崎 宏			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	大気汚染・騒音・振動問題に対する確な対応・指導を行い、届け出義務があることを周知させることにより、市民生活の安全・安心を図るもの。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	大気汚染、騒音、振動被害を軽減するため、指導及び監視活動を行う。
②①に基づく取り組み結果	ホームページへの掲載及び窓口対応等で周知し、市民生活の安全・安心を図っている。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	各世帯	意図(対象をどうするのか)	市民が静穏で快適な生活を送れるようにする。
②事務事業の概要	公害の現状把握を行うため、毎年、自動車騒音常時監視業務測定等を実施し、騒音・振動等に係る届出・指導を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	関係法令により事業が定められており、環境基準や規制基準が制定当時に比べると、各種公害を取り巻く環境や住民意識も変化している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	別添のとおり						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	相談件数	54	43	46	件	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	4,545	3,635	金額(千円)	内容		3,450	
国支出金(千円)			90	測定局電気料			
県支出金(千円)			830	大気環境マップ運用委託			
市債その他(千円)			1,458	航空機騒音実態調査業務委託			
一般財源(千円)	4,545	3,635	799	自動車騒音・面的評価業務委託		3,450	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	測定結果の活用方法について検討する必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法令等により市に義務付けられた業務であるため、今後も継続する。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
		当初		H26からの繰越
		H26⇒27繰越		
②計画に対する事業実績		補正		現年分
③達成状況		流用・充当		
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)			